

花ヶ前盛明さんが長峰城址で講演 見学会では空堀などに感動

吉川区長峰地内にある長峰城見学会が7日行われました。今回は新潟県文化財保護連盟理事の花ヶ前盛明さんなどを講師に講演と城址歩きがありました。参加者は約50人、このなかには今年、開府400年を迎えた長岡市関係者の方たちもおられました。

花ヶ前さんは日本城郭体系、吉川町史などで長峰城について執筆された方です。長峰池などの池に囲まれ、大規模な空堀などによって防御性の高い城となっていること、長峰の地が歴史に登場したのは、長峰城ができる100年ほど前の永正の乱であること、今回の大水害で被害の出ている綾部市上杉町が上杉発祥の地であることなどを詳しく語りました。

花ヶ前さんの講演の後は、山城に詳しい佐藤春雄さん、金井薫さんが城址を案内してくださいました。私は佐藤さんの案内で見学したのですが、上野国大胡城との比較、実測に基づく空堀の規模、形態分析などの話に引き込まれました。急な斜面が42度にもなっているとはびっくりでした。

城址は保存会の人たちによって、今年も南西物見やぐら台跡周辺などの木々が切り倒され、400年前の城の状態が昨年以上によくわかるようになっています。また、保存会が募集した「長峰城にちなんだ俳句や短歌」の優秀作品も展示され、より親しみやすくなりました。

見学会参加者からは、「空堀のすごさがよくわかった」「地形を生かし、よく考えられた城になっている」「なぜ、2年で終わったのか、詳しく知りたい」「説明ポイントごとに2、3行の解説があればいいね、ペーパーで」などの声が上がっていました。



関東甲信越・北陸13都県で新潟県最低賃金額は最下位

順位 (2007年)	都県名	最低賃金額(時給)		
		2010年10月～	2014年10月～	2017年10月～
1	東京	821	888	958
2	神奈川	818	887	956
3	埼玉	750	802	871
4	千葉	744	798	868
5	栃木	697	733	800
6	茨城	690	729	796
7	長野	693	728	796
8	富山	691	728	795
9	山梨	689	721	784
10	群馬	688	721	783
11	石川	686	718	781
12	福井	683	716	778
13	新潟	681	715	778
全国加重平均		730	780	878

新潟県最低賃金の改善問題で頑張っている新潟県労働組合総連合(県労連)は県内の全市町村を訪問し、自治体幹部に要請と懇談を行っている。左表はその際、自治体側に示した資料の一部です。新潟県は関東甲信越・北陸13都県の中で最低賃金額が最下位です。最賃の低いところから高いところへ人口が流失していることを考えると、これは何とんでも改善しなければなりませんね。

新潟県最低賃金の改善問題で頑張っている新潟県労働組合総連合(県労連)は県内の全市町村を訪問し、自治体幹部に要請と懇談を行っている。左表はその際、自治体側に示した資料の一部です。新潟県は関東甲信越・北陸13都県の中で最低賃金額が最下位です。最賃の低いところから高いところへ人口が流失していることを考えると、これは何とんでも改善しなければなりませんね。



【キュウリグサ】ムラサキ科の多年草。漢字で「胡瓜草」と書きます。薄青色の花を咲かせることから、ルリソウと間違えそうになりますが、違います。花期は3月～5月。安塚区にて撮影。

はしづめ法一の
活動レポート

No.1866 2018.7.15
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一 検索

春よ来い

第五一四回

トリアシの花

やはりトシコさんから聞いたとおりでした。キヨミさんが入っている墓のまわりはきれいに掃除されていましたし、すぐそばの土手にはトリアシの白い花がたくさん咲いていたのです。

トシコさんがキヨミさんとの思い出を語ってくれたのは先日の午後、久しぶりに強い雨が降った時間帯でした。トシコさんとは前にも一度だけ、一緒になったことがあります。でも、そのときはほとんど口を開けることがなかったことから、「無口な人」との印象を私は持っていました。

雨がそうさせたのでしょうか、この日のトシコさんは違いました。二〇分くらい、ずっとしゃべりっぱなし。それも、キヨミさんが亡くなった当日のことから、長年二人が頑張り続けてきた森林組合での草刈りのこと、亡くなってからキヨミさんの弟さんが畑仕事や家の周りの片付けなどのために通い続けていることまで克明に語ってくれたのです。私は、話に引き込まれ、好物のキュウリの漬物を出していただいたにもかかわらず、手をつけずじまいでした。

亡くなったキヨミさんは七四歳でした。生まれ育った集落は豪雪地帯でしたが、縁あって、そこに負けないくらい雪がたくさん降る集落に嫁ぎました。とても頑張り屋で、三年前に亡くなったお連れ合いと一緒に田畑の仕事だけでなく、ゼンマイの栽培などにも力を入れていたようです。

農閑期には森林組合の仕事にも出ました。ちようど、今頃なんでしょうね、草刈りの仕事にでたのは……。

トシコさんは、いま振り返ると、頑張り屋だったキヨミさんが、数年前に弱音を吐いたことが忘れられないというのです。それは、浦川原区の宝台寺から上猪子田の山中にある送電線の点検ルートでの草刈りの

時でした。「おれはもう頑張れない」。キヨミさんがぼつりと言ったというのです。そのときトシコさんは、「おまん、おれよりも六つも下んがに、なに言うね」と言い返したとのことでしたが、当時から体調がすぐれなかったのかも知れません。

トシコさんとキヨミさんとの関係は、家同士の付き合いを含めて強いものであったに違いないとは思っていたのですが、トシコさんの墓参りの話を聴いてその思いはいつそう強まりました。

キヨミさんが亡くなってから二か月の間、トシコさんは何度も墓参りをしてきたといっています。

先だつてのバカ暑い日には四リツトルの水を持って行き、「墓の頭からゴボゴボと飲ましてやった」と言います。残った水は自分も飲んだとのことでした。トシコさんは、いつも花を持参して行くようにしていますが、この日は家に花がなかったのでしょうか、トリアシの花を飾ってきたということでした。

私はトシコさんの話を聴き、一度、お墓を訪ねてみたいと思いました。数日後、私はトシコさんの親戚の人から案内していただき、墓場に行ってきました。

キヨミさんの家の墓は集落を過ぎ、農道から入った小高い場所にありました。トシコさんが語ってくれたとおり、墓は一反ほどの田んぼの下にあり、そばにはりっぱな杉林がありました。墓のまわりには杉の葉ひとつ落ちていませんでした。

墓に至る道にはエゾアジサイなど野の花が咲き、白くなったマタタビの葉も見えます。そのなかで一番多く、目立ったのは福を運んでくると言われるトリアシの花でした。トリアシの花を飾ってもらい、キヨミさんもうれしかったに違いありません。

議会報告会で要望次々

議会報告会を6日、吉川区内の2会場で行いました。今回の報告会には先の県議補選で健闘した平良木前市議も参加、お礼の言葉と今後の決意をのべました。最初の会場では「集落内に空き家が増えてきている。どうしたらいいか」「再稼働の賛否を立地自治体にしかきかないのはおかしい。放射線被害の可能性の大きい私たちのところでも賛成、反対言えるようにして」「敬老会のお祝いは健康者もそうでない人も平等にを心がけてもらいたい」などの声が出て、予定時間をいっぱい使ったので懇談ができました。もう一つの会場では、参加者は私とほぼ同じ年代の人ばかり、話題は介護のことが中心になりました。参加者の中には介護施設で働いている人が2人いたことから、「ショートには『帰宅症候群』の人がたくさんいる」「職場では厳しい労働の割には賃金が安く、定着しないケースが多い。このままでは介護にあたる人が不足する」など生々しい実態を明らかにしていただきました。また、紙おむつの支援に所得制限を導入した市の対応に疑問の声をあげた夫婦もありました。報告会は今後も続けていきます。



ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	7月4日(水)	7月11日(水)
上越南消防署	0.047	0.047
上越北消防署	0.050	0.047
新井消防署	0.043	0.047
頸北消防署	0.057	0.050
頸南消防署	0.053	0.063
東頸消防署	0.043	0.040
高士分遣所	0.050	0.043
名立分遣所	0.050	0.057

原爆パネル展

上越市原水爆禁止協議会・平和委員会主催の「原爆パネル展」が9日から始まっています。展示された写真パネルは20数枚ですが、熱線で焼かれた体、爆風で吹っ飛んだ木などが写っていて、見れば、核兵器禁止をの思いを強くします。会場は直江津学びの交流館のエントランスホール。パネル展はきょう、15日までです。ぜひお出かけを。